

糖尿病透析予防支援外来の介入効果に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 5 月 7 日 ～ 2026 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

糖尿病透析予防支援外来における看護介入回数と患者背景による効果の比較及び関連性についての検討

〔研究目的〕

当院の糖尿病透析予防支援外来に 2018 年より 5 年 4 か月の間に受診し、初回の看護介入日より 3 年が経過した患者を対象に、看護介入回数と効果との関連や、患者属性、患者背景による効果の違いについて検討します。

〔研究意義〕

糖尿病の合併症である糖尿病性腎症の進行により、透析などの腎代替療法が必要となる患者は多く、慢性透析療法の原疾患第一位は糖尿病性腎症です。透析導入件数の減少、合併症の重症化予防を目指し、糖尿病性腎症に対し早期に医療介入と行うことが求められています。本研究では糖尿病透析予防支援外来における効果的な看護師の関りについて検討します。

〔対象・研究方法〕

対象：2018 年 7 月 1 日～2023 年 11 月 30 日に当院内科外来を受診し、糖尿病透析予防支援外来において看護介入を行い、初回介入日より 3 年が経過した患者全 68 例のうち死亡、受診中断、透析導入となった 14 例を除いた 54 例

研究方法：外来看護師が電子カルテより情報を収集、分析し、介入による血糖管理や腎機能の改善率を算出して検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院看護部

〔個人情報の取り扱い〕

倫理委員会事務局に提出後、帝京大学臨床研究センターにおいて原本、およびスキャンにより電子化されたデータを 10 年間施錠された鍵棚に保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 松田 麻耶 職名 係員

研究分担者：氏名 清水 奈都 職名 係員

所属：帝京大学医学部附属病院 看護部

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表) 〔内線 30223 〕